

飯豊町むらづくり講座 2021

～飯豊町農村計画研究所再興事業～

参加費無料

山形県飯豊町（いいでまち）は今から50年以上前に住民参加のまちづくり・むらづくりを進めてきた町です。住民、行政、研究者の協働での地域づくり活動を進める中で、1985年に「飯豊町農村計画研究所」が設立され、住民参画での地区別土地利用計画や景観づくりをテーマとした「農村計画講座」が公開で開催されました。それらの成果は町の総合計画の中に地区別土地利用計画として反映され、今日に至っています。その後、研究所としての活動を休止していましたが、2021年4月から始動したSDGsのまちづくりである「第五次飯豊町総合計画」に掲げられた人づくりの拠点として、2022年度から再興させることになりました。

再興の準備活動として、今年度から「むらづくり講座」（4回）を開催し、次年度以降も継続していきます。地区別計画を担う町民やまちづくり・むらづくりに関心のある町民、全国の研究者、学生、一般市民等、NPO団体、行政職員等の幅広い参加を得て開催いたします。聞いて学ぶ講座から、受講生との意見交換を大切に、より参加型で、問題解決型の講座です。

町内外から、多くのご参加を心よりお待ちしております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【主催】 飯豊町農村計画研究所再興委員会
飯豊町（SDGs 未来都市）

【後援】 一般財団法人 林業経済研究所、特定非営利活動法人 中山間地域フォーラム、農村計画学会

講座のスケジュール・概要

初回は、全国で先駆的に歩んできた飯豊町の住民参加の地域づくりを振り返り、かつ2021年度から開始した第5次総合計画（SDGsのまちづくり）について講義します。飯豊町は8割以上が森林で、町の南部には日本で一番大きな中津川財産区の森があります。森の保全と活用は本町だけでなく全国的なテーマです。2～4回は「森を考える」として、広葉樹を含めた樹木・木材の活用、森林環境の多面的な活用、鳥獣被害・野生動物との共生について、各専門家からの講話と討議を行います。町民、行政職員、研究者、学生、一般市民等誰でも参加可能です。開催方法は会場での対面方式と、オンラインの併用とします。

2021年

11/28
(日)

糸長浩司（飯豊町農村計画研究所再興委員会委員長、日本大学特任教授）

飯豊町のまちづくりとSDGs ～町立の研究所再興による人材育成～

本町の住民参加のまちづくり・むらづくりの歴史に学び、今日的な地球環境・気候非常事態の地球・世界的課題に対して再ローカリゼーションの意義と本町の先駆的取り組みを考える。

12/25
(土)

大塚生美(国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 東北支所)

森を考える1 ～飯豊の森の保全と活用、広葉樹林に注目して～

飯豊町の森林特性を考慮し、広葉樹林をどう生産林として保全活用していくべきかについて、全国的な視点から考える。

2022年

1/29
(土)

土屋俊幸（東京農工大学名誉教授、林政審会長、林業経済研究所 所長）

森を考える2 ～国の新しい森林・林業基本計画と地域について～

2021年に策定された「森林・林業基本計画」の骨子を紹介し、その上で、経済・社会・環境・教育の総合的な視点から、飯豊町のような東北地域での森林と林業の短期・中期・長期的な戦略の展望について考える。

2/12
(土)

羽澄俊裕（野生動物保護管理事務所元社長）

森を考える3 ～野生動物との緊張的共生関係の再構築に向けて～

全国的に鳥獣被害、大型野生動物被害が深刻化している具体的な状況、及び防御策について考えると同時に、飯豊町における今後の野生動物との緊張的共生関係の再構築を考える。

【開講場所】 飯豊町 町民総合センター あ～す（定員 50名）

※オンラインを併用します。オンラインの定員は“100名”とします。

【時間】 13:00～15:00（開場 12:30）

※オンラインでの申込者には、URLを後日連絡します。

申し込み方法

連続講座ですので**4回通しで参加いただくことを原則としますが**、1～3回の参加も可能です。参加申し込みは、電話もしくは、eメールで事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

第1回申し込み締め切りは**11月22日（月）**です。2回目以降は、開催日の1週間前とします。

受付にあたっては、①氏名、②職業（大学生の場合は大学名）、③居住市町村、④連絡先（メールアドレス等）⑤参加希望日（4回分記入可）、⑥参加方法（会場 or オンライン）をお伝えください。

飯豊町企画課内 むらづくり講座事務局 【電話】 0238-87-0521

【e-mail】 eas_iide@fd5.so-net.ne.jp